

## LCR CARE CONNECTIONS NETWORK

### LCR 何でもお世話ネット

すでにチラホラと皆様のお耳に情報が入っていると思いますが、このたび LCR の役員会でこの新しいプロジェクト、LCR CARE CONNECTION NETWORK-「LCR 何でもお世話ネット」、が正式に承認され、2012 年 1 月から皆様にご利用いただけるようになりました。2 年前、Diana Meinhold と芙美 Liang は在宅介護の必要性を痛感し、LCR のミニストリーの 1 つとして立ち上がらせようと共にリサーチを始めました。この画期的なプロジェクトの内容を皆様に理解していただく為に、先ず：①のプロジェクトはいったい何なのか？ ②なぜ必要なのか？ を説明させていただきたいと思います。

#### ① LCR 何でもお世話ネットはどんなプロジェクト（企画）？

斬新な企画とも言えるこのプロジェクトは、会員となった皆様が、（50 歳以上のシニアを主に対象としています）自分たちの住み慣れた家で、健康状態が許す限り、何時までも快適に生活ができるようにお手伝いする企画です。すでにボストンでは 2001 に始まった Beacon Hill Village という組織が大成功を納め、そこから同じような“Villages-村”が、すでに 50 以上アメリカ国内に立ち上がりました。私たちはそれをお手本に、会員の皆様に、様々なサービスを準備いたします。リストには送迎のサービスから家の修理やメンテに必要なサービス、健康や教育のプログラムから社交のイベントまで盛りだくさん用意されています。サービスのリストに参加する会社または業者は、責任者である Diana と芙美が事前に面接をし、ライセンスも確認した上でリストに載せます。そして会員の皆様に確かなサービスと格安なお値段でご利用いただけるように準備いたします。皆さんがご利用になったサービスの費用は、各自に直接お支払いしていただきます。LCR 何でもお世話ネットは NPO(nonprofit organization 非営利組織)ですが、運営費として一年間のメンバーシップ費をお支払いいただきます。



## ② なぜこの企画が必要なのか？

「何でもお世話ネット」は、政府が提供しているシニア・サービスとのギャップを埋める役目をします。政府が提供するサービスを利用するには、医師の証明が必要とされたり、低所得の人たちだけが対象となったりします。ですから政府のサービスを受ける対象ではないシニア達が、住み慣れた自分の家で生活が続ける場合、家族や友人、ボランティアの助けに頼る事になります。自分の家族や友人に頼めない場合はどうでしょう？ 多額の費用を払って人を雇うか、シニアホームに移り多額の家賃を払う事になるしか他に方法はないのでしょうか？ 現在1万人以上のベビーブーム世代が次々に65歳を迎えています。ですから今後益々政府の提供するシニアのサービスと個人の経営するシニアのサービス、そして信仰に基づいた組織によるシニアサービスが共に協力在の加齢化社会の需要に応える必要があるのです。残念ながらアメリカでは、シニアを対象としたサービス、住居やアパートの供給は追いつかない状態です。ましては85%以上の人たちがアシスタントホーム等に住むより、自分の住み慣れた家に住んでいたいと願っているのです。ところが、現在の社会、特にカリフォルニアにおける基盤設備は、運転できなくなったシニアにとって、援助してくれる家族や友人が付近に住んでいない場合、自分の家に住む事は難しい事なのです。

LCR では、加齢化社会においての在宅介護の必要性が、教会員だけでなく、地域の人々にも必要になっていることを認識しています。この企画は最初 LCR の教会員の方を中心に奉仕を始めていきますが、いずれは Huntington Beach, Costa Mesa, Irvine, Fountain Valley 等の地域に住む方にも奉仕の範囲を広げて行きたいと願っています。理想は、南カリフォルニアにある全てのルーテル教会にまで広がって行く事です。多年代がお互いに助け合って生きて行く事が、健全な社会作りに繋がるのです。



今私たちが必要としているのは、あなたです！！

私たちは、私たちと共に熱意を持ってこの企画に取り組んでくれる仲間を募集しています。 Grant-writing (授与金の申告)、会計、法律、マーケティング、看護師、

社会福祉業、等の特別なタレントを持った方が参加して下さる事を切に望んでいます。もし自分は特別なタレントはないけれど、ぜひこの企画に参加したいという熱意のある方は勿論大歓迎です。The Care Connections Network Working Board - 「何でもお世話ネット働く役員会」は、ビジネスプランを立て、授与金の申し込みをし、プログラムの進展を計ります。役員会は2011年中1ヶ月2回、2012年からは1ヶ月に1度行います。

ぜひ私たちのプロジェクトに参加して下さい。お待ちしております。連絡先は、芙美 Liang: (714) 334-2227, 又はDiana Meinhold: (714) 745-7037 です。